

甲府市市民実感度調査 報 告 書

令 和 7 年 1 月
甲 府 市

目 次

I 調査概要	1
1 調査の目的	1
2 調査設計	1
3 回収結果	1
4 調査項目	1
5 調査結果を見る上での留意点	1
II 回答者の属性	3
1 性別	3
2 年齢	3
3 居住地域	3
4 居住年数	4
5 職業	4
III 調査結果	5
1 実感度	5
（1）単純集計	5
（2）属性クロス集計	5
①性別	5
②年齢	6
③居住地域	6
④居住年数	7
⑤職業	7
⑥居住意向1	8
⑦居住意向2	9
2 施策・基本構想の推進の区分における実感度	10
（1）実感度の順位表	10
（2）実感度の回答割合【実感度の高い順】	12
IV まとめ	13
1 施策・基本構想の推進の区分における実感度	13
（1）実感度の順位表	13
（2）実感度の回答割合【実感度の高い順】	13
2 市民実感度調査の活用方法	13
3 自由意見等	14
（1）「問Ⅱ 今後も甲府市に住みたいと思いますか」における「機会があれば市外へ転居したい」を選んだ主な理由	14
（2）市政に対するご意見、ご提案など（実感度の高い順）	14

I 調査概要

1 調査の目的

「第六次甲府市総合計画」に位置づけられた37の施策及び基本構想の推進における4つの方針に関し、施策を実施した結果「市民の実感度がどう変化したのか」を把握し、市政運営の基礎資料とするため、次のとおり市民実感度調査を実施しました。

2 調査設計

- | | |
|------------|---------------------------|
| (1) 調査地域 | 甲府市全域 |
| (2) 調査対象 | 令和6年9月1日現在、甲府市在住の18歳以上の男女 |
| (3) 調査対象者数 | 2,000人 |
| (4) 抽出方法 | 住民基本台帳登録者から無作為抽出 |
| (5) 調査方法 | 郵送配付・インターネット回答又は郵送回答（無記名） |
| (6) 調査期間 | 令和6年10月11日～11月11日 |

3 回収結果

- | | |
|---------|-------|
| (1) 回収数 | 847人 |
| (2) 回収率 | 42.4% |

4 調査項目

- (1) 回答者の基本情報（性別・年齢・居住地域・居住年数・職業）
- (2) 「第六次甲府市総合計画」の施策の大綱に位置づけられた37の施策及び基本構想の推進における4つの方針について42の設問
※施策の中で「農業・林業の振興」は農業と林業の設問に分けています。
- (3) 甲府の住みやすさと今後の甲府市への居住希望について
- (4) 市政に対するご意見、ご提案、ご感想（自由記入）

5 調査結果を見る上での留意点

- (1) 本文や図表の選択肢の言葉は、短縮している場合があります。
- (2) 実感度は、「そう思う」＝4点、「ややそう思う」＝3点、「あまりそう思わない」＝2点、「そう思わない」＝1点を設問項目ごとに合計し、有効回答数で除した平均値で数値化しています。
- (3) 回答割合等の各集計値において小数点以下の値が生じる場合は、端数処理の都合により各項目の合計値と表上の合計値とが一致しない場合があります。
- (4) 本調査は、調査対象となる母集団（18歳以上の全ての甲府市民）から一部を無作為抽出した「標本調査」であるため、調査における回答比率等は、母集団との間に標本誤差が生じることがあります。

統計学的に計算した今回の標本誤差は次のとおりです。

例えば、ある質問の回答者数が 800 のうち、「ふつう」と答えた方が 50% であった場合、誤差の範囲は最大でも ±3.46% 以内、「満足」と答えた方が 20% であった場合、±2.76% 以内の誤差であると考えられます。

回答比率 p 回答者 n	回答比率				
	90% or 10%程度	80% or 20%程度	70% or 30%程度	60% or 40%程度	50% 程度
100	5.88%	7.84%	8.98%	9.60%	9.80%
300	3.39%	4.52%	5.18%	5.54%	5.65%
400	2.94%	3.91%	4.49%	4.79%	4.89%
500	2.63%	3.50%	4.01%	4.29%	4.38%
700	2.22%	2.96%	3.39%	3.62%	3.70%
800	2.07%	2.76%	3.17%	3.39%	3.46%
900	1.95%	2.61%	2.99%	3.19%	3.26%

N＝母集団数 158,997 人

n＝回答者数

p＝回答比率

※令和6年9月1日現在

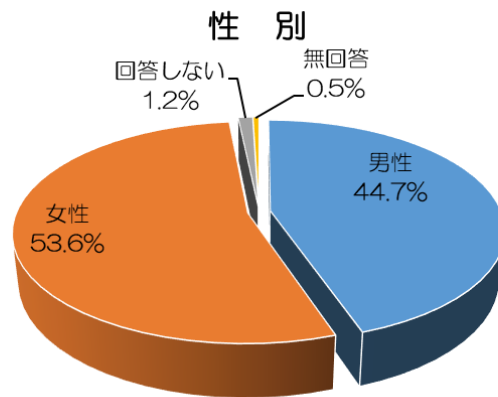
(18 歳以上)

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

Ⅱ 回答者の属性

1 性別

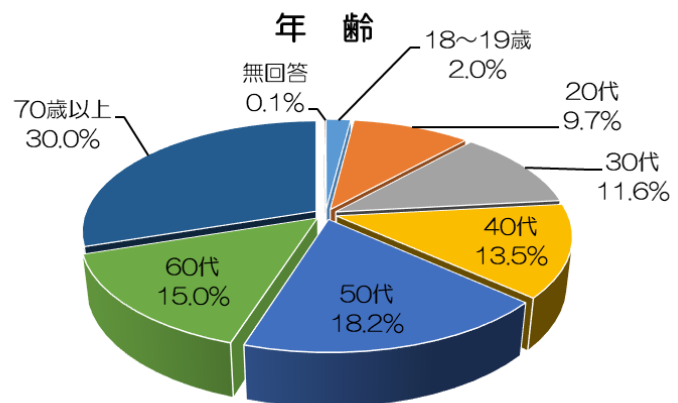
性別	回答数	回答割合%
男性	379	44.7
女性	454	53.6
回答しない	10	1.2
無回答	4	0.5
合計	847	100.0



「女性」が53.6%となっており、「男性」の44.7%、「回答しない」の1.2%を上回っています。

2 年齢

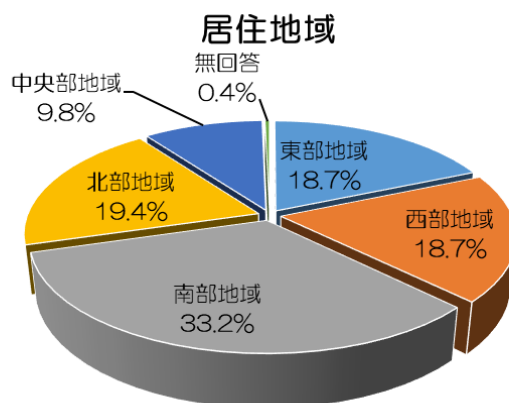
年齢	回答数	回答割合%
18～19歳	17	2.0
20代	82	9.7
30代	98	11.6
40代	114	13.5
50代	154	18.2
60代	127	15.0
70歳以上	254	30.0
無回答	1	0.1
合計	847	100.0



「70歳以上」(30.0%)が最も多く、次いで「50代」(18.2%)、「60代」(15.0%)となっています。

3 居住地域

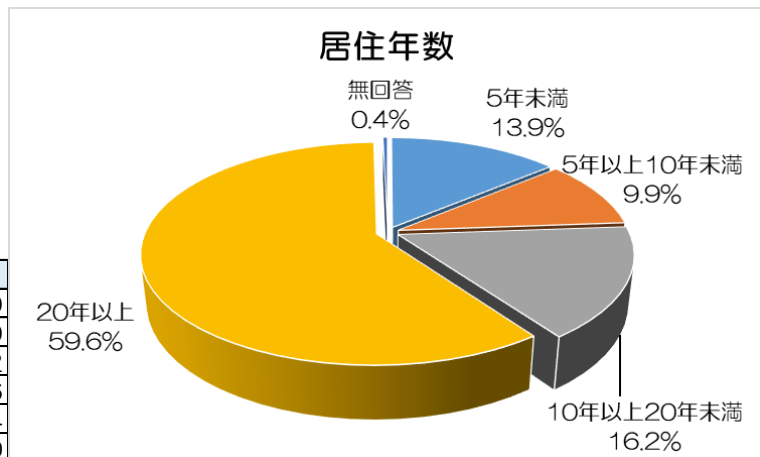
居住地域	回答数	回答割合%
東部地域	158	18.7
西部地域	158	18.7
南部地域	281	33.2
北部地域	164	19.4
中央部地域	83	9.8
無回答	3	0.4
合計	847	100.0



「南部地域」(33.2%)が最も多く、次いで「北部地域」(19.4%)となっています。

4 居住年数

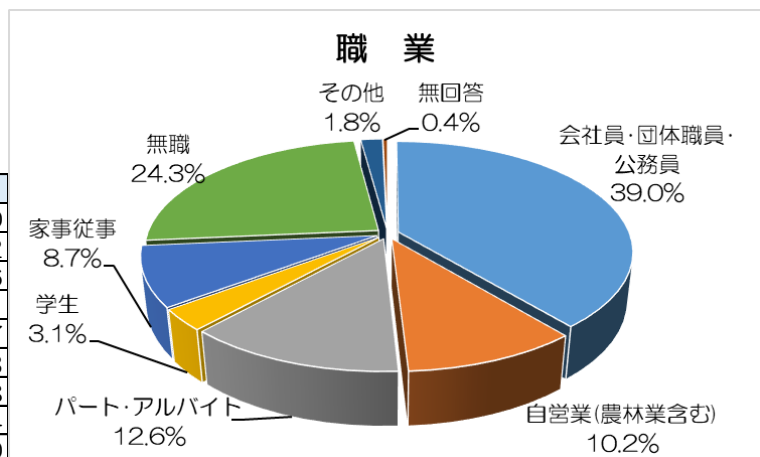
居住年数	回答数	回答割合%
5年未満	118	13.9
5年以上10年未満	84	9.9
10年以上20年未満	137	16.2
20年以上	505	59.6
無回答	3	0.4
合計	847	100.0



「20 年以上」(59.6%) が最も多く、次いで「10 年以上 20 年未満」(16.2%) となっています。

5 職業

職業	回答数	回答割合%
会社員・団体職員・公務員	330	39.0
自営業(農林業含む)	86	10.2
パート・アルバイト	107	12.6
学生	26	3.1
家事従事	74	8.7
無職	206	24.3
その他	15	1.8
無回答	3	0.4
合計	847	100.0



「会社員・団体職員・公務員」(39.0%) が最も多く、次いで「無職」(24.3%)、
「パート・アルバイト」(12.6%) となっています。

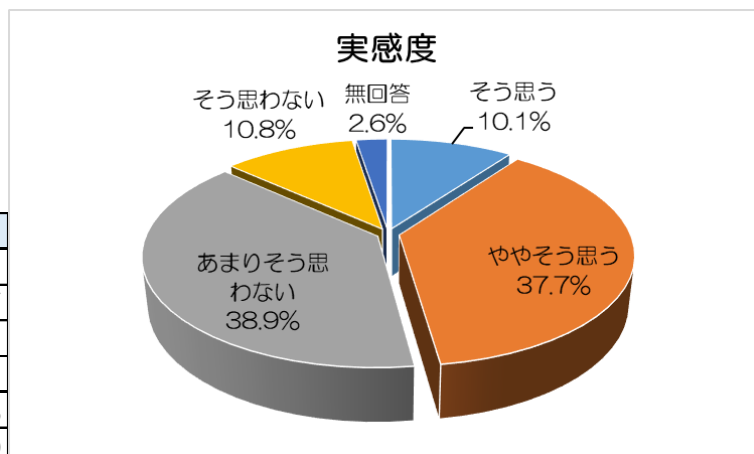
Ⅲ 調査結果

1 実感度

甲府市の取り組みについて、42 の設問に対する実感度を伺いました。

(1) 総計（回答者数n=847）

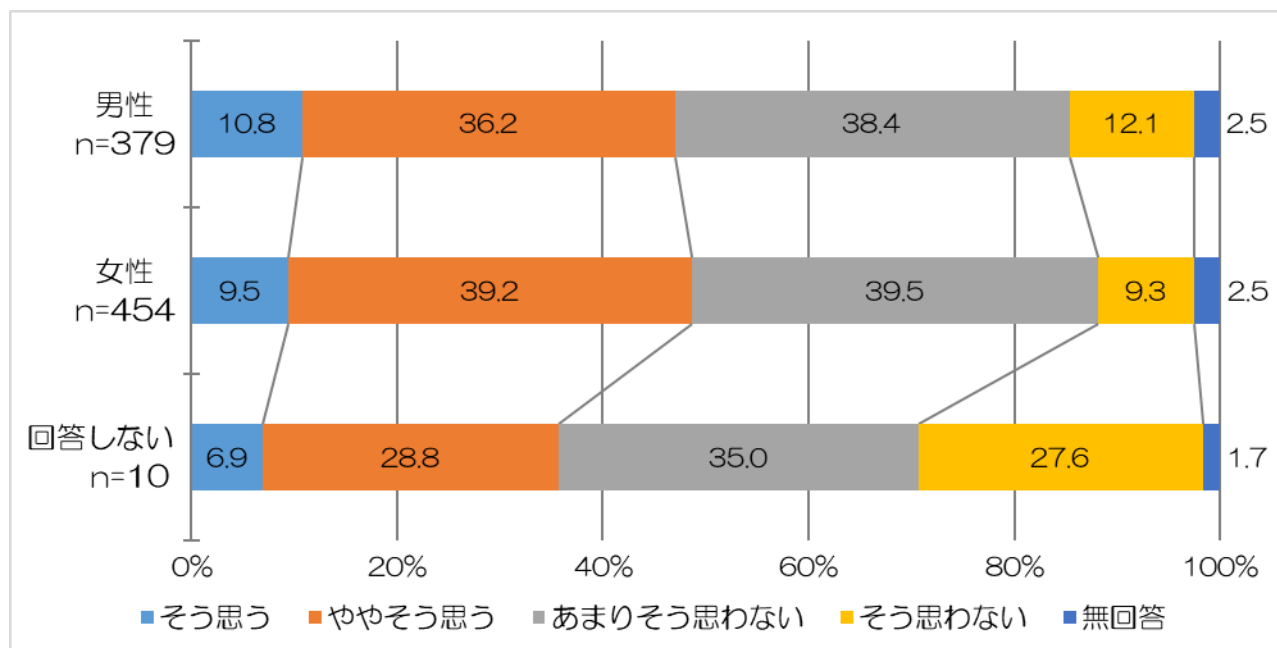
実感度	回答割合%
そう思う	10.1
ややそう思う	37.7
あまりそう思わない	38.9
そう思わない	10.8
無回答	2.6
合計	100.0



「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた『実感している層』（以下同じ）の割合は 47.8%、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『実感していない層』（以下同じ）の割合は 49.7%となっています。

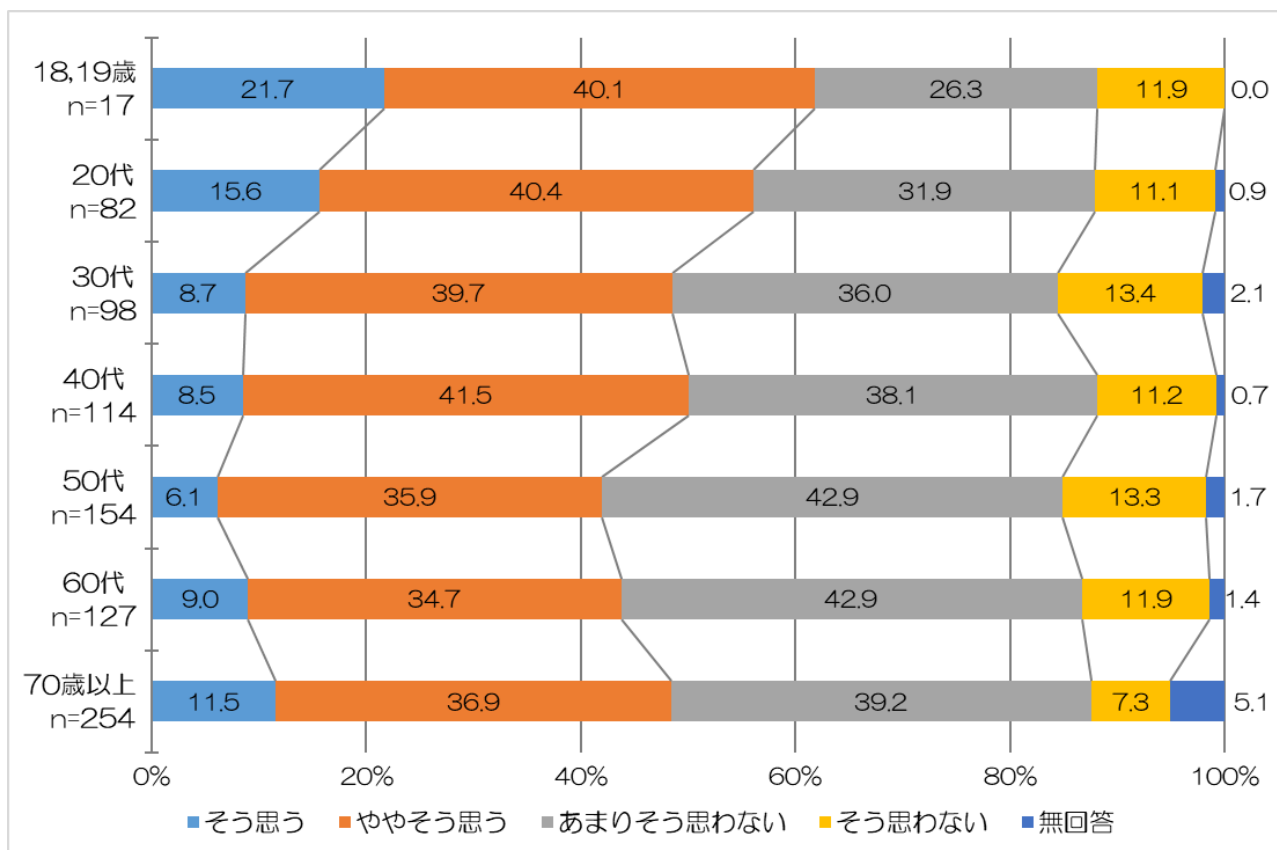
(2) 属性クロス集計

①性別（回答者数n=843）



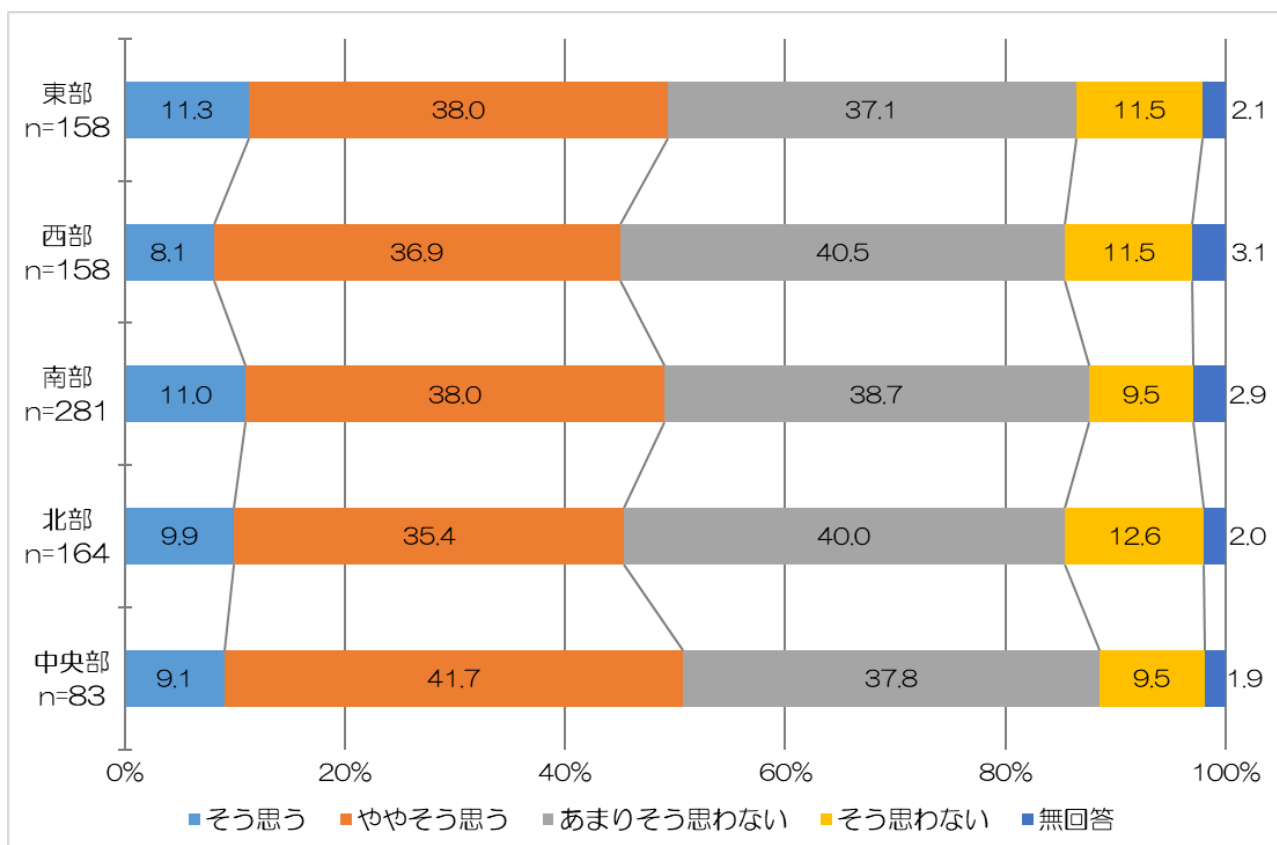
「女性」の『実感している層』の割合は 48.7%であり、「男性」の 47.0%、「回答しない」の 35.7%よりも高くなっています。

②年齢（回答者数n=846）



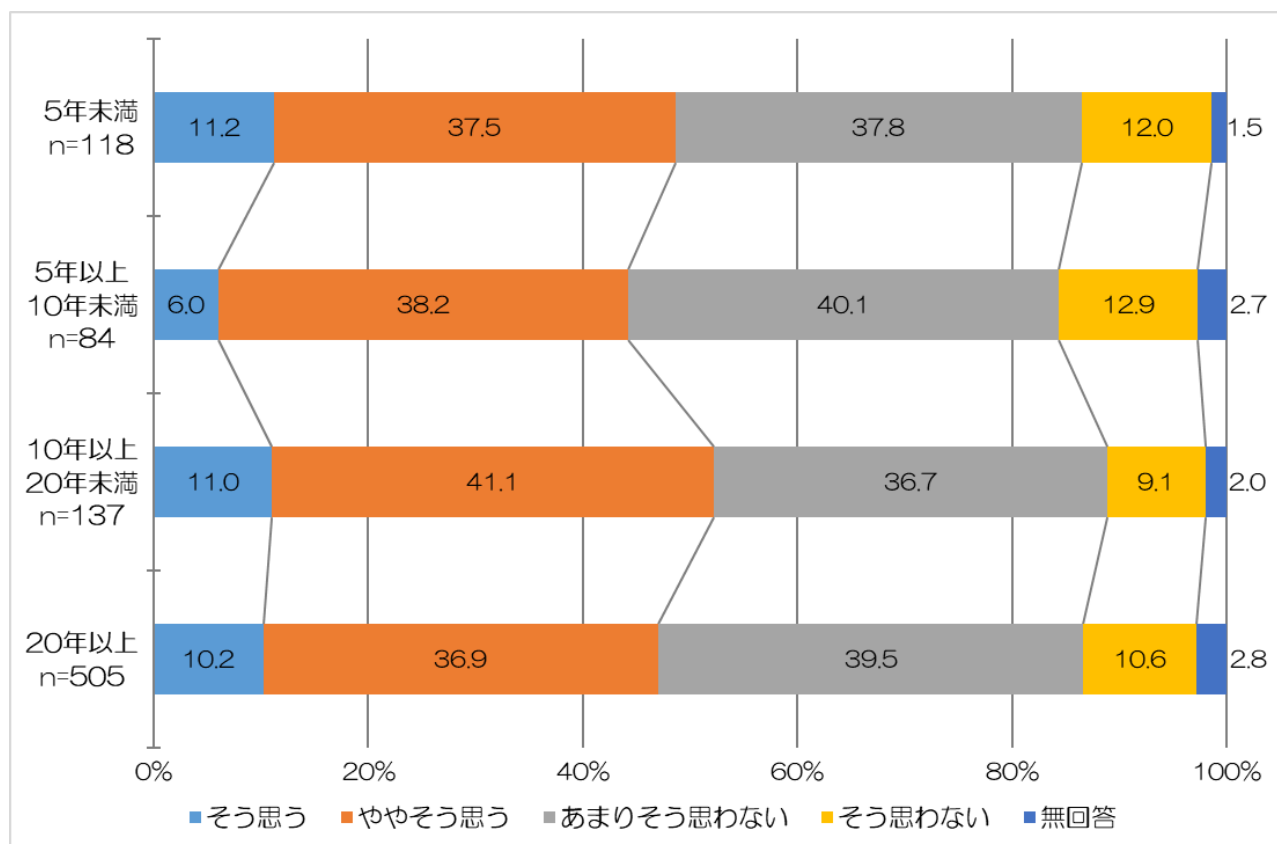
『実感している層』の割合は「18,19 歳」（61.8%）が最も高く、次いで「20 代」（56.0%）となっています。

③居住地域（回答者数n=844）



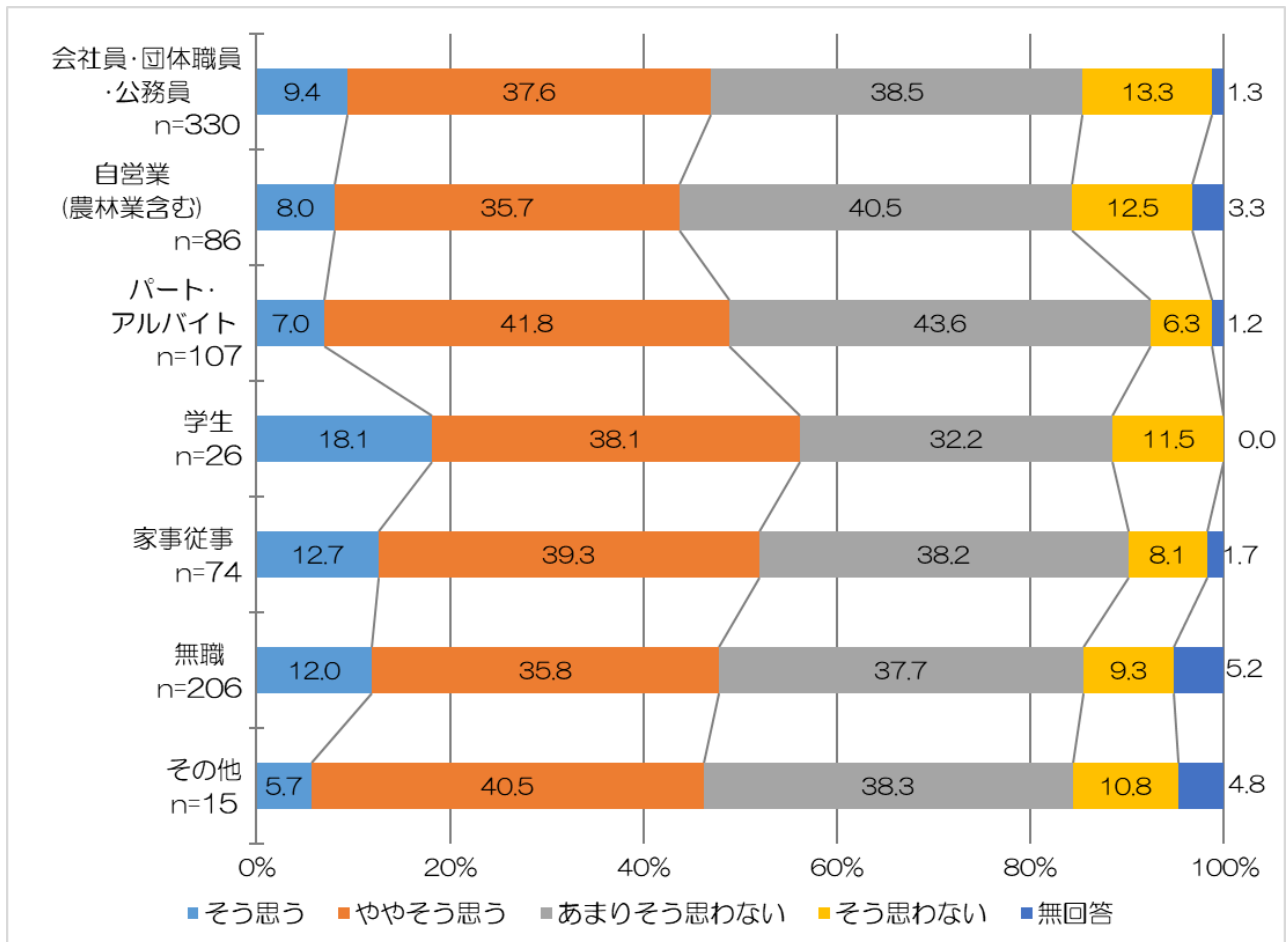
『実感している層』の割合は「中央部地域」(50.8%)が最も高く、次いで「東部地域」(49.3%)となっています。

④居住年数（回答者数n=844）



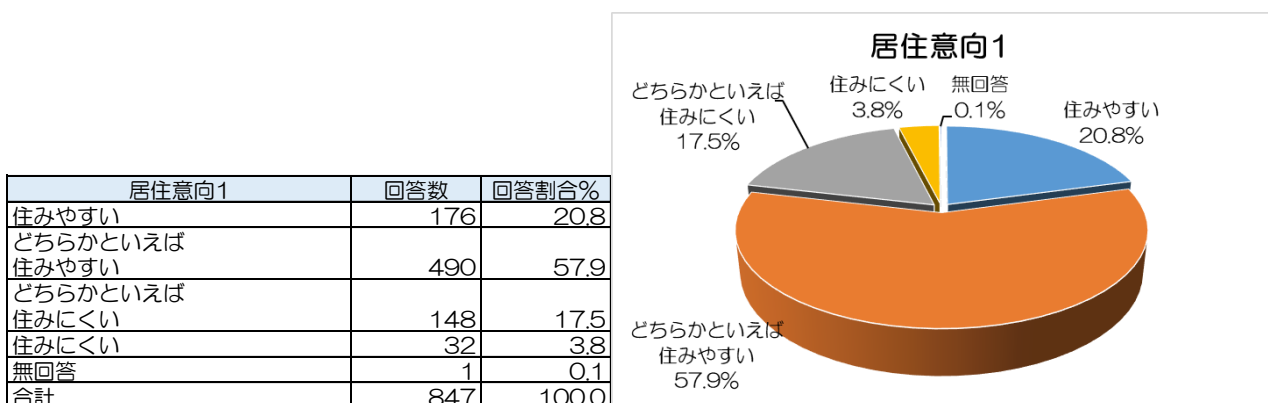
『実感している層』の割合は「10 年以上 20 年未満」(52.1%)が最も高く、次いで「5 年未満」(48.7%)となっています。

⑤職業（回答者数n=844）



『実感している層』の割合は「学生」(56.2%)が最も高く、次いで「家事従事」(52.0%)、「パート・アルバイト」(48.8%)となっています。

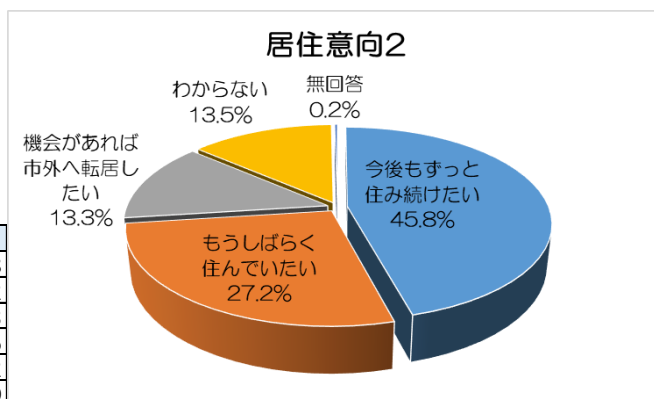
⑥居留意向1（あなたにとって、甲府市は住みやすいまちですか）



「どちらかといえば住みやすい」(57.9%)が最も多く、次いで「住みやすい」(20.8%)となっており、合わせて78.7%となっています。

⑦居住意向 2（今後も甲府市に住みたいと思いますか）

居住意向2	回答数	回答割合%
今後もずっと住みたい	388	45.8
もうしばらく住んでいたい	230	27.2
機会があれば市外へ転居したい	113	13.3
わからない	114	13.5
無回答	2	0.2
合計	847	100.0



「今後もずっと住みたい」（45.8%）が最も多く、次いで「もうしばらく住んでいたい」（27.2%）となっており、合わせて73.0%となっています。

2 施策・基本構想の推進の区分における実感度

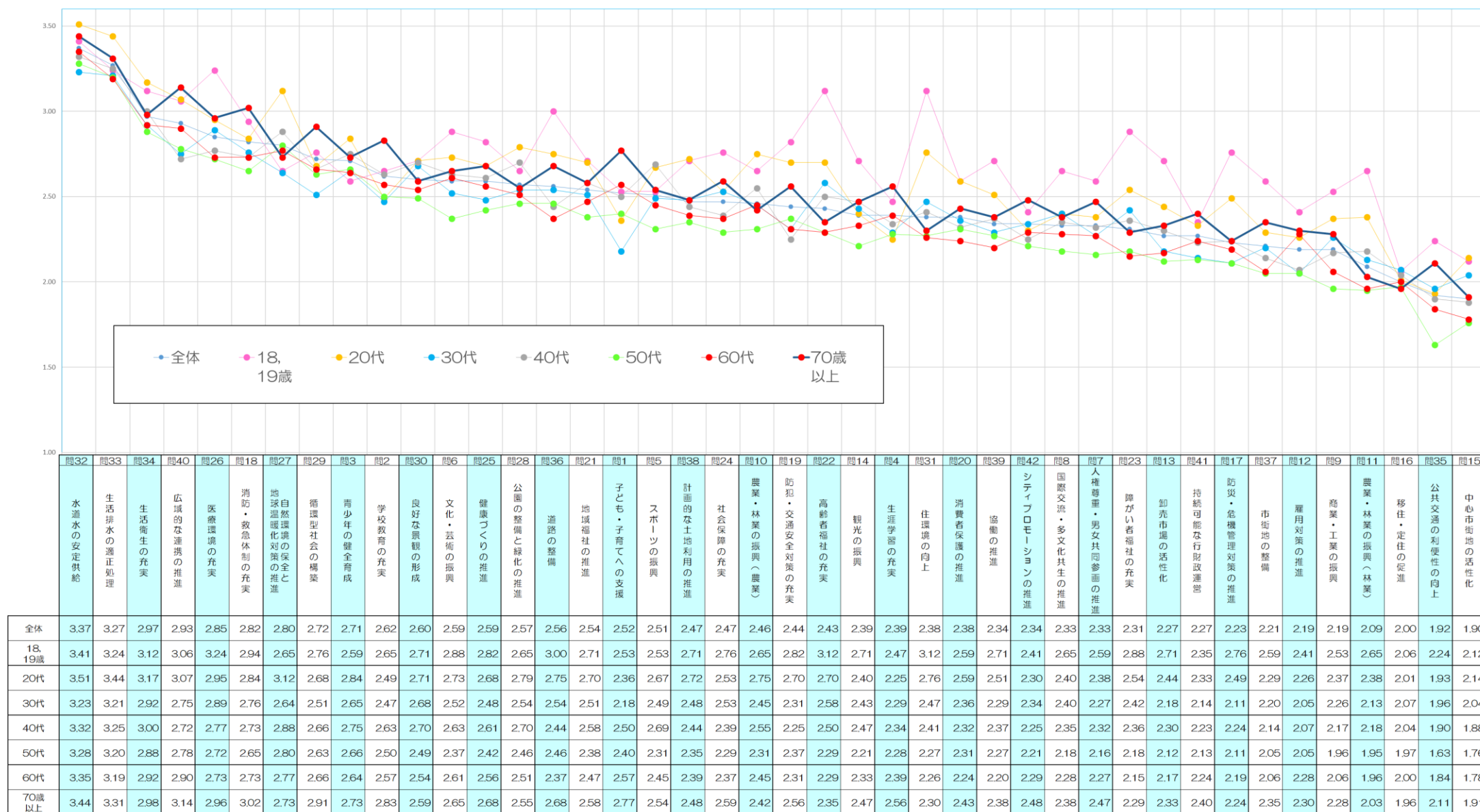
(1) 実感度の順位表

「第六次甲府市総合計画」の施策ごとに、「実感度」を伺いました。「実感度」は、それぞれの回答を4段階で数値化し（「そう思う」を4点とし、以下1点ずつ減じ「そう思わない」を1点と換算）、設問項目ごとの合計を有効回答数で除した平均値で表しています。

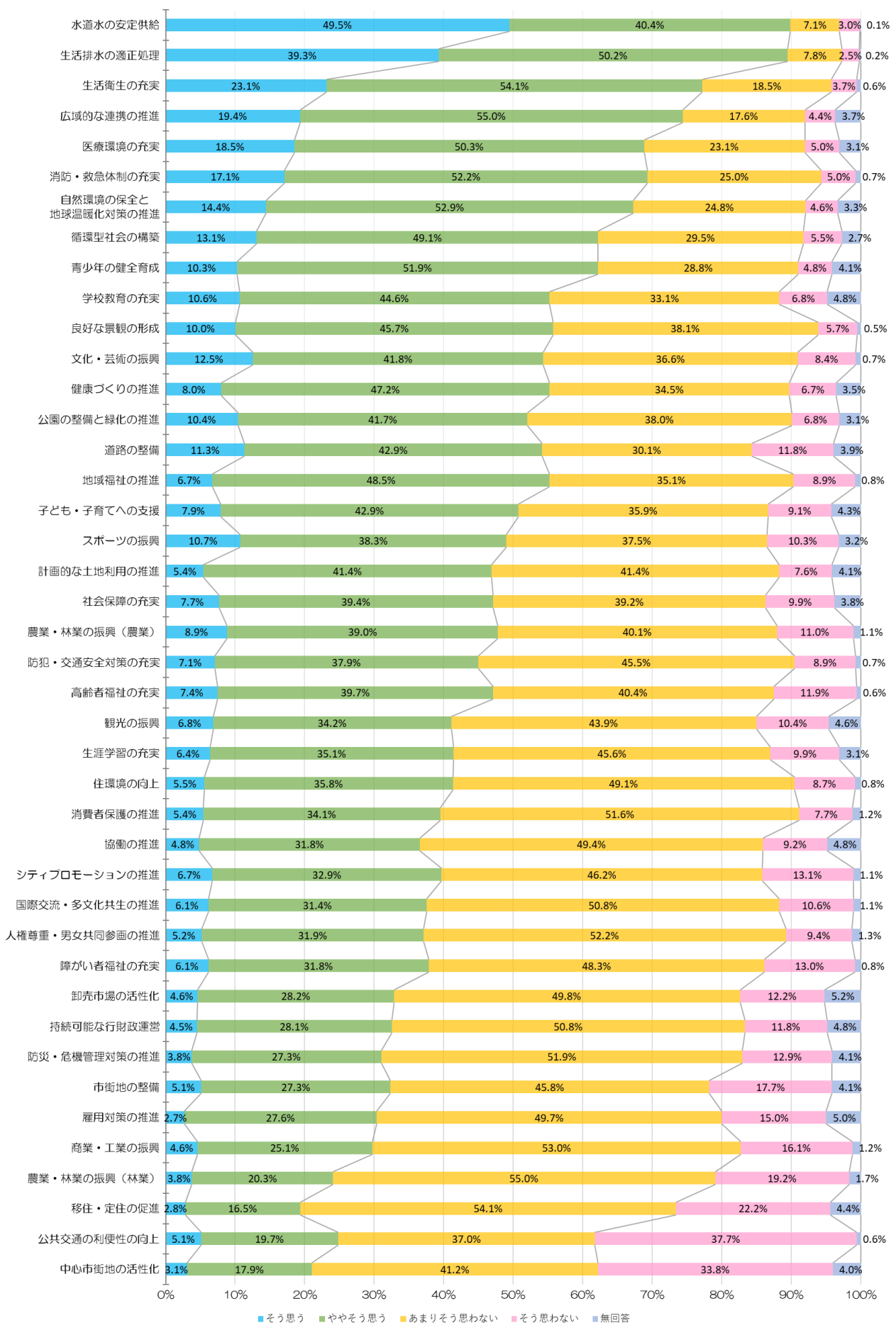
ア. 全体

順位	設問	施策・基本構想の推進 (農業・林業の振興は分割)	市民 実感度
1	安全でおいしい水が安定的に供給されている	水道水の安定供給	3.37
2	公共下水道の整備などにより、生活排水が適正に処理されている	生活排水の適正処理	3.27
3	し尿の適正処理や動物の適正飼育などが図られ、良好な衛生環境が保持されている	生活衛生の充実	2.97
4	消防やごみ処理などの広域的な行政が、効率的・効果的に行われている	広域的な連携の推進	2.93
5	必要な時に適切に医療を受けることができる環境が整っている	医療環境の充実	2.85
6	消防・救急体制が充実している	消防・救急体制の充実	2.82
7	豊かな自然環境の保全が図られている	自然環境の保全と地球温暖化対策の推進	2.80
8	ごみの減量化・資源化などにより、環境への負担の低減が図られている	循環型社会の構築	2.72
9	地域の青少年が健全に育成されている	青少年の健全育成	2.71
10	学校の内容や教育環境が充実している	学校教育の充実	2.62
11	自然、歴史や文化を生かした美しく風格のある景観の形成が進められている	良好な景観の形成	2.60
12	文化・芸術に親しむことができる環境が整っている	文化・芸術の振興	2.59
13	健康づくりに向けた支援、予防保健の充実により、健康やかに暮らすことができる環境が整っている	健康づくりの推進	2.59
14	市民生活に潤いと安らぎを与える緑豊かな環境づくりが進められている	公園の整備と緑化の推進	2.57
15	道路の整備が進められている	道路の整備	2.56
16	市民が互いに思いやり、支え合いながら、住み慣れた地域で安心して暮らすことができる環境が整っている	地域福祉の推進	2.54
17	子ども・子育てへの支援が充実している	子ども・子育てへの支援	2.52
18	生涯にわたり、身近な場所でスポーツに親しむことができる環境が整っている	スポーツの振興	2.51
19	自然環境と都市環境の調和する秩序あるまちづくりが進められている	計画的な土地利用の推進	2.47
20	生活に困窮する人への対策や国民健康保険制度・介護保険制度等、社会保障の充実が図られている	社会保障の充実	2.47
21	農産物を安定して供給することのできる農業の振興が図られている	農業・林業の振興（農業）	2.46
22	犯罪や交通事故による被害の未然防止対策の充実が図られている	防犯・交通安全対策の充実	2.44
23	高齢者が健康にいきいきと暮らすことができる環境が整っている	高齢者福祉の充実	2.43
24	多くの人々が訪れ交流する観光のまちづくりが進められている	観光の振興	2.39
25	生涯にわたり学び続け、楽しみや生きがいを持つことができる環境が整っている	生涯学習の充実	2.39
26	耐震化の推進などにより、安全で良好な住環境が確保されている	住環境の向上	2.38
27	消費者被害の未然防止や救済が図られている	消費者保護の推進	2.38
28	市民、NPO、事業者、行政などの協働によるまちづくりが進められている	協働の推進	2.34
29	甲府の魅力を外内に向けて効果的に情報発信されている	シティプロモーションの推進	2.34
30	国際理解に対する市民意識が醸成され、外国人が訪れやすく、住みやすい環境づくりが進められている	国際交流・多文化共生の推進	2.33
31	お互いを理解しながら個人が尊重される意識の醸成や男女共同参画社会の形成に向けた環境づくりが進められている	人権尊重・男女共同参画の推進	2.33
32	障がいのある人が安心して暮らすことができる環境が整っている	障がい者福祉の充実	2.31
33	甲府市地方卸売市場の活性化が図られている	卸売市場の活性化	2.27
34	高度化・多様化する行政ニーズに的確に対応し、最小の経費で最大の効果を挙げる行財政運営が行われている	持続可能な行財政運営	2.27
35	災害に強いまちづくりが進められている	防災・危機管理対策の推進	2.23
36	都市としての便利さや暮らしやすさの向上が図られ、活気ある市街地の整備が進められている	市街地の整備	2.21
37	勤労者がいきいきと働くことのできる就労環境が整備されている	雇用対策の推進	2.19
38	活力ある商業・工業の振興が図られている	商業・工業の振興	2.19
39	林業の活性化が図られている	農業・林業の振興（林業）	2.09
40	東京圏などからの移住・定住が進んでいる	移住・定住の促進	2.00
41	公共交通機関を利用して、円滑な移動ができる	公共交通の利便性の向上	1.92
42	中心市街地の賑わいが創出されている	中心市街地の活性化	1.90
	平均		2.48

イ. 年齢別



(2) 実感度の回答割合【実感度の高い順】



Ⅳ まとめ

1 施策・基本構想の推進の区分における実感度

(1) 実感度の順位表

ア. 全体

実感度が高い施策・基本構想の推進は、「水道水の安定供給」、「生活排水の適正処理」、「生活衛生の充実」、「広域的な連携の推進」、「医療環境の充実」の順となっており、生活に密着した施策で実感度が高い傾向が見られます。

実感度が低いのは、「中心市街地の活性化」、「公共交通の利便性の向上」、「移住・定住の促進」、「農業・林業の振興（林業）」、「商業・工業の振興」の順となっています。対象者が限定される施策については、全体的に実感度が低い傾向が見られます。

イ. 年齢別

年齢別の実感度を施策別に見ると、最も実感度が離れている施策は「住環境の向上」で、実感度の高い18,19歳と、実感度の低い60代とでは0.86ポイントの差があります。

次に「高齢者福祉の充実」では、実感度の高い18,19歳と、実感度の低い50代で0.83ポイントの差、「障がい者福祉の充実」では、実感度の高い18,19歳と、実感度の低い60代で0.73ポイントの差となっています。

(2) 実感度の回答割合【実感度の高い順】

『実感している層』の割合が、「水道水の安定供給」については89.9%、「生活排水の適正処理」は89.5%と、非常に高くなっています。

逆に『実感していない層』の割合が、「移住・定住の促進」については76.3%、「中心市街地の活性化」は75.0%と高くなっています。

2 市民実感度調査の活用方法

市民実感度調査の集計結果を施策担当部署にフィードバックし、施策評価指標の一つとして活用することにより、市民の実感度や回答の変化を検証する中で、今後の施策に反映させていきます。

3 自由意見等

(1)「問Ⅱ 今後も甲府市に住みたいと思いますか」における「機会があれば市外へ転居したい」を選んだ主な理由

- 公共交通の利便性
- 子育て支援の充実
- 地域活動が負担
- 税負担
- 行政サービスの充実

(2) 市政に対するご意見、ご提案など（実感度の高い順）

「水道水の安定供給」について

- 水道インフラの老朽化
- 水道水の安全性

「生活排水の適正処理」について

- 下水道の完全普及

「生活衛生の充実」について

- 熊や猪等の野生生物への対策
- 野良猫への対策
- カラスへの対策

「広域的な連携の推進」について

- 他市との更なる連携

「医療環境の充実」について

- がん専門病院や子ども病院などの設立

「青少年の健全育成」について

- ヤングケアラーや不登校、ひきこもりに係る施策の充実
- 子ども達の体力向上
- 子ども達が安心して遊べる場所

「学校教育の充実」について

- 給食内容の充実
- 給食費の無償化
- 特別支援教育の充実

「良好な景観の形成」について

- 美しい自然の活用

「文化・芸術の振興」について

- 南部地域への図書館設置
- 文化・芸術に触れる環境の充実

「公園の整備と緑化の推進」について

- 荒川の河川敷の整備
- 既存公園の整備

「道路の整備」について

- 車道や歩道の整備
- 横断歩道や停止線の点検
- 道路の拡幅

「地域福祉の推進」について

- 自治会活動を縮小・簡素化

「子ども・子育てへの支援」について

- 保育料等の無償化
- 子育て世帯に対する助成制度の充実
- 子どもが遊べる施設の増設

「スポーツの振興」について

- ヴァンフォーレ甲府の専用スタジアム建設
- ヴァンフォーレ甲府の練習施設の充実

「社会保障の充実」について

- 国民健康保険料の負担軽減
- 低所得者等への助成の充実

「循環型社会の構築」について

- 資源ごみ・粗大ごみの回収頻度の増加
- ゴミステーションの充実
- 各種助成制度の周知

「農業・林業の振興（農業）」について

- 耕作放棄地への対策
- 林道の整備

「防犯・交通安全対策の充実」について

- 街灯の増設

「高齢者福祉の充実」について

- 高齢者の移動手段等の充実
- 生活保障の充実

「観光の振興」について

- 昇仙峡の遊歩道の整備
- 武田神社周辺の土産店や休憩所の増設

「住環境の向上」について

- コンパクトシティの推進
- 空き家への対策

「シティプロモーションの推進」について

- 季節ごとの魅力や商業イベントのPR
- 市行政の行ったことのアピール

「人権尊重・男女共同参画の推進」について

- ジェンダーギャップの改善

「国際交流・多文化共生の推進」について

- 日本語習得の支援の充実

「障がい者福祉の充実」について

- 障がいの有無に関わらず安心して暮らせるまちづくり
- 障がい者の雇用促進

「持続可能な行財政運営」について

- 税負担の軽減
- 市役所でのペーパーレスの推進

「防災・危機管理対策の推進」について

- 水害対策の強化
- 避難所の設備の充実

「雇用対策の推進」について

- 若者の就職先の充実
- 高齢者が働ける場の充実
- 最低賃金の引き上げ

「商業・工業の振興」について

- 起業支援の充実
- 商業施設の誘致

「移住・定住の促進」について

- 空家を活用した移住支援の推進

「公共交通の利便性の向上」について

- 交通弱者が利用しやすい公共交通機関の整備
- リニア開通を見据えた公共交通機関の整備

「中心市街地の活性化」について

- 甲府駅周辺の駐車場の増設
- 商業施設等の誘致
- 集客性のあるイベントの開催

「その他」

- 積極的な情報発信
- 大胆な施策の展開
- 子育て世代以外への施策展開
- 外国人や観光客ではなく、市民向けの施策展開
- 物価高騰への対策